

平成18年 8月 3日  
日本原子力発電株式会社



## 東海第二発電所 可燃性ガス濃度制御系における計器設定の不適合について

東海第二発電所（沸騰水型軽水炉：定格電気出力110万キロワット）は定格熱出力一定運転中において、他プラントで発生した可燃性ガス濃度制御系<sup>※1</sup>における計器設定の不適合事象<sup>※2</sup>に鑑み、当該系統に係る流量計の校正記録の妥当性を確認した結果、8月1日、流量変換器<sup>※3</sup>の計器仕様表に記載されている入力基準値と、前回定期検査期間に実施した校正記録の入力基準値に不整合があることがわかりました。

このため、原子炉施設保安規定に定めた手順に従い、当該系統を隔離し、計器仕様表どおりに当該流量変換器の入力基準値を変更し校正を行いました。更に、当該系統の運転を行い、機器の健全性に問題のないことを確認しましたので、8月2日に通常運転状態に復旧しました。

今後は、流量変換器の入力基準値に誤りが発生した原因などを調査します。

以上

### 添付資料：東海第二発電所 可燃性ガス濃度制御系 系統概略図

- ※1 可燃性ガス濃度制御系：原子炉冷却材喪失事故時に発生する可燃性ガス（水素、酸素）が原子炉格納容器内に溜まり、水素と酸素が反応して燃焼を起こす事を防ぐため、水素・酸素ガス濃度を制限値以下になるよう処理する装置。1系統で100%容量をもつ独立したA系、B系の2系統で構成されている。
- ※2 東京電力㈱福島第一原子力発電所6号機の可燃性ガス濃度制御系の流量計ならびにその他の系統の流量計において、計器の設定に係る不適合個所が判明した事象。
- ※3 流量変換器：流量検出器で測定された差圧を流量信号に変換する計器。当該制御系には、系統入口流量とブロア入口流量の2つがある。

# 東海第二発電所 可燃性ガス濃度制御系 系統概略図 [拡大図]

